

上田市わがまち魅力アップ応援事業 選考申込書

記入例

※印は記入不要

申込年月日	令和 5 年 ○月 ◇日	※受付番号		
事業区分 (該当年目に○印)	継続事業 ( 5 年目 )		添付書類 (該年に○印)	収支予算書・団体概要書・チェック表 (別紙1) (別紙2) (別紙3) 年度別事業計画等・事業概要書 (別紙4) (任意様式)
団体の名称	(フリガナ) ◇◇ジチイ○○カイ		団体の代表者	(フリガナ) ウエダ イチロウ
	◇◇自治会○○の会			上田 一郎
代表者の住所等	〒 386 - 1234 上田市 ○○ 2 2 2 - 1 1 1			
	TEL ( 22 ) ○○○○ FAX ( 22 ) ○○○○			
連絡責任者  (実際に連絡が取れる方を選任し、差し支えなければ携帯電話番号も記入して下さい)	(フリガナ) ナガノ タロウ		氏名	
			長野 太郎	
	住所 〒 386 - 4321 上田市 ○○ 3 3 3 - 1 1 1			
	TEL ( 22 ) ○○○○ 携帯 090 ( 1111 ) ○○○○ Eメールアドレス: ○○○○@city.ueda.nagano.jp			
事業名	○○地域の自然と歴史を活用した○○交流事業			
主な事業実施場所	自治会グラウンドと散歩道	予定参加者の範囲 (対象・人数等)	自治会会員80人と一般市民10人	
	複数年事業でも年度の終了予定日を記入			
事業実施期間	事業開始予定日	事業完了予定日		
	令和 5 年 5 月 20日	～ 令和 5 年 12 月 15日		
事業の目的 及び 期待される効果	現在、○○地域では宅地造成が進み居住人口が増加した一方で、コミュニケーション活動が低下し、自治会の行事や祭事への参加・関心が低下している。 ○○地域には○○城のほか戦国時代からの史跡が数多く残るが、これらは後世に伝えていくべき歴史遺産であるため、地域の中でこれらの歴史を学び・伝えることにより、住民がその価値を再認識し、地域への愛着や一体感を醸成する。			
事業内容  (方法・スケジュール等)	7月 地域の歴史や史跡にまつわる講演会の開催 (7/○(土)、午後開催予定) ・ 外部講師を招き実施 (講師:真田○○、丸武△△) 8月～9月 史跡巡りのための遊歩道の整備 (予定場所は別紙参照) ・ 立木伐採、除草を行い、丸太階段、歩道両脇にロープによる柵を設置 10月 遊歩道活用による史跡巡りイベントの開催 (ウォークラリー等) (第2 or 3 の土曜日の午前中予定)			
来年度以降の取組	来年度以降も継続して講演会やイベントを開催し、地域住民の親睦を深めながら地域の歴史を学び、地域の連帯感を高める。			
当該年度の他の補助金・助成実績または見込	有 ・ 無	実施する上での課題、現状等	特になし ・ 特記事項有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事施行箇所の地権者合意済</li> <li>・ 地元自治会で事業概要説明実施済</li> </ul> この際、反対者はいなかった。 or 別紙のとおり反対意見が出た。
選考申込書に計画した事業内容が説明しきれない場合は、別紙(様式任意)にて事業概要書の作成・提出をお願いします。		※受付確認		

事業を実施する上で必要な手続きの状況、問題点などを記入してください。

係長	係長	係長	担当

上田市わがまち魅力アップ応援事業 令和 5年度 収支予算書

団 体 名		◇◇自治会〇〇の会		※欄は記入不要			
事 業 名		〇〇地域の自然と歴史を活用した〇〇交流事業					
科 目		金 額 (円)	積 算 内 訳				
収入	参加者負担金	20,000	500円×40人				
	寄 付 金	6,000	協力企業より				
	当該補助金	500,000	上田市より				
	自 己 資 金	59,690					
	合 計	585,690					
支出	補助対象経費	原材料費	103,000	材木、支柱、丸石、杭、セメント (別紙・積算内訳書のとおり)			
		消耗品費	7,000	コピー代、インク代			
		謝金	50,000	講師謝金 2人×25,000円 (上田市基準内)			
		旅費・交通費	25,000	講師旅費 2人×12,500円 (◇◇◇⇔上田)			
		使用料及び賃借料	35,000	草刈機、荷物運搬車 (別紙・積算内訳書のとおり)			
		印刷製本費	80,000	イベント講演会のチラシ (別紙・積算内訳書のとおり)			
		通信費	3,690	郵送代			
		燃料費	8,000	重機軽油代、トラック軽油代			
		保険料	4,000	作業保険料			
		委託費	B	見積額 150,000	D	補助上限額(F×1/3) 188,563	委託費・備品購入費の内訳は別紙へ ※補助対象額 G の算定では B か Dの金額の低い方を使用
	備品購入費	C	見積額 100,000	E	(C)のうち補助希望額 100,000	(E)のうち補助上限額 ※	
	小 計	F	A+B+C 565,690	G	補助対象額 A+B (又はD) +E 539,690	審査後の補助対象額 ※	
	補助対象外経費	会議費相当の経費	20,000	H	(G)のうち補助希望額 (1,000円未満切捨)	I	会議費 (G×5%以内) (1,000円未満切捨)
		その他 ( )	0		500,000		0
その他 ( )		0	補助金合計額 (H+I)		審査後の補助合計額		
小 計		J	20,000	500,000		※	
総事業費(F+J)		585,690			上限 (200万円)		

※ 積算内訳欄にそれぞれの科目ごとの品名または使途と積算内訳(記載例:講師謝金2人×7,000円等)を記入のこと。本紙に記入しきれない場合は、別紙・積算内訳書(任意様式)を添付のこと。  
 ※ 委託費の補助額は、補助対象経費総額(F)の1/3を上限とする。(補助期間内における調整は可能とする。)  
 ※ 備品とは1個または1組の価格が3万円以上かつ5年以上使用する物品のことで、団体負担を求める場合がある。  
 ※ 委託費・印刷製本費・備品購入費及びその他単価3万円以上の物品等については、見積書を添付のこと。  
 ※ 委託費・備品購入費・会議費等の計上にあたって不明な点がある場合や、記入に当たり不明な点は、申し込み先の各地域協議会事務局へお問い合わせください。

(任意様式)

記入例

## 積算内訳書 (補助対象経費)

科目	品名・用途	数量	単位	単価	金額	摘要
原材料費						
材木	1.2×1.2×4.0	30	本	600	18,000	ホームセンター広告単価
丸石		100	個	450	45,000	〃
杭	角50×80	200	本	150	30,000	インターネット通販単価
セメント	普通25kg	20	袋	500	10,000	見積書参照
小計					103,000	
消耗品費	コピー代	200	部	10	2,000	
	インク代	1	式	5,000	5,000	
小計					7,000	
謝金		2	人	25,000	50,000	県外講師
交通費		2	人	12,500	25,000	上田-東京間
使用料及び賃借料						
草刈機借上		10	台	400	4,000	
運搬車	4t	1	台	31,000	31,000	見積書参照
小計					35,000	
印刷製本費	チラシ6000部	1	式	80,000	80,000	見積書参照 配布計画別紙
通信費	郵送代	45	通	82	3,690	講演会周知用
燃料費	軽油	64	ℓ	125	8,000	
保険料	イベント保険	1	式	4,000	4,000	カタログ参照
委託費						
看板制作	ペイント	1	式	80,000	80,000	見積書参照
設置費	基礎工	1	式	70,000	70,000	見積書参照
小計					150,000	
備品購入費						
ハンドマイク	道先案内用拡声器	2	セット	50,000	100,000	見積書・カタログ参照 必要性、レンタル比較別紙
小計					100,000	
合計					565,690	

※ 科目ごとの小計を記入のこと。

## 団 体 概 要 書

団体名	◇◇自治会〇〇の会	(会員数)	6人
団体所在地	上田市 〇〇 222-111		
団体概要  ※単独自治会、及び単独地区連の場合①～④記入不要  ただし、複数自治会の連合体や自治会の中の〇〇クラブや〇〇連絡会などの組織は記入して下さい。	① (設立年月) 平成 10 年 5 月		
	② (活動目的) 〇〇自治会は宅地造成が進み居住人口が増加した一方で、住民間のコミュニケーション活動が少なくなり、自治会の行事や祭事への参加・関心が低下している。地域の歴史を次世代へ継承していくことが難しい状況のため、〇〇会の取組をとおして、地域住民皆が一緒に楽しみ親睦を深める中で、地域の歴史を学び・伝えることで、住民がその価値を再認識し、地域への愛着や一体感を醸成する。		
	③ (活動内容) 1 地域の歴史や史跡にまつわる講演会の開催 2 史跡めぐりのための遊歩道の整備、維持管理 3 地域交流イベントの企画・運営 4 歴史資料の収集・学習・啓発・冊子発行		
	④ (活動実績) ・平成10年～15年 歴史資料収集・整理 ・平成15年～20年 地域住民による自主学習会 ・平成20年～30年 上田地域全体の自然・歴史の個別研究		
会 員 名 簿 (記入しきれない場合は別紙にて提出して下さい。)			
氏 名		住 所	
上田 一郎		上田市 〇〇 222-111	
上田 太郎		上田市 〇〇 333-111	
丸子 次郎		上田市 〇〇 444-111	
丸子 三郎		上田市 〇〇 555-111	
真田 四郎		上田市 〇〇 666-111	
武石 五郎		上田市 〇〇 777-111	
記載人数計		6 人	

市民の皆さん5人以上で構成されているか確認します。

- ※ 団体の概要がわかる資料がありましたら添付して下さい。  
 (例) 会の定款、規則、直近年度の総会資料、会員名簿等
- ※ 会員名簿には、全員の住所(所在地)を明記してください。(市民活動団体は5人以上)  
 住所が市外の場合は、市内の通勤・通学先の所在地、又は活動場所を記載してください。  
 会員名が団体の場合は、代表者の氏名及び所在地又は代表者の住所等を記載してください。  
 ただし、自治会の申請の場合は役員の方のみで可とします。
- ※ 会員名簿に記載された個人情報については、応募事業の審査を行う上での利用目的以外には使用いたしません。

わがまち魅力アップ応援事業 事前チェック用紙

事業名：〇〇地域の自然と歴史を活用した〇〇交流事業

確認事項		○×	メモ(分かる範囲で記入)
補助実績	この事業は、過去に市の地域づくり支援制度による補助を受けていない。又は過去に補助を受けた事業とは内容の異なる事業である。	○	
	この事業は、他の制度による補助を見込んでいない。	○	
	県の「元気づくり支援金事業」には申請していない。	○	
団体要件	団体は、5人以上の上田市民で構成されている。	○	
	団体は、政治、宗教及び営利団体ではない。	○	
事業内容	この事業は、事前着手した内容は申請額に含まれていない。(調査費用、チラシ印刷費用など)	○	
	この事業は、政治、宗教及び営利活動には該当せず、内容は組織内の維持・趣味の範囲にとどまらない。	○	
	この事業は、不特定多数の市民・地域住民(一部の役員のみ)の活動ではない)を対象とする。	○	
	この事業は、実施地域の合意を得ている。	×	これから合意を得る場合は×を記入
	今後、調整すべき課題がある。(事業実施には調整等が不要か調整済の場合○、解決すべき課題等(地権者合意等)がある場合× ……メモ欄へ)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所( )課と協議し、確認が(必要・不要[調整済み])である。</li> <li>今後、実現には( )に(申し入れ、申請し)( )許可等を得る必要がある。</li> <li>何が必要かよくわからない。</li> </ul>
協働できる内容等	市の担当課と協働で実施できる内容や、助言・アドバイス等事業協力依頼を希望する場合は、その担当課所名と内容を記入してください。(特になければ×)	○	希望課所名( 〇〇課 )
予算内容	本年度補助金交付予定額を上回る事業費については、自己資金や寄付金等により実施していただけることが確実である。(確実であれば○、その他×……メモ欄へ)	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確実ではないが団体内で検討し理解を得ている。</li> <li>● 正直やってみないとわからない。不安がある。</li> </ul>
実施時期	次年度以降に実施する予定の事業についても、団体内で検討し決定した内容である。(×……メモ欄へ)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来年以降の計画は未定または不確実である。</li> <li>● 今後、実行したうえで、軌道修正しながら実施していく予定である。</li> </ul>
	この事業の開始は概ね何月からを予定している。(決まっていれば○……メモ欄へ、明確でなければ×)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 春 (4月～)</li> <li>● 夏 (6月～8月頃)</li> <li>● 秋 (9月～10月頃)</li> <li>● 冬 (11月以降)</li> </ul>

×の箇所は確認が必要

## 年度別事業計画等

事業名： ○○地域の自然と歴史を活用した○○交流事業					
	年次	実施年度	主な補助対象事業費(概算)の内容	総事業費	うち補助額(予定)
活動の年度別事業内容	1年目	令和 元 年度	R元 収支決算書のとおり	585 千円	500 千円
	2年目	令和 2 年度	R2 収支決算書のとおり	700 千円	400 千円
	3年目	令和 3 年度	R3 収支決算書のとおり	500 千円	300 千円
	4年目	令和 4 年度	R4 収支決算書のとおり	500 千円	500 千円
	5年目	令和 5 年度	R5 収支予算書のとおり	600 千円	300 千円
	合 計				2,885 千円